

J A U W

会費の完納
募金の推進

東京都渋谷区千駄ヶ谷
一ノ一八(会館内)
法人 大学婦人協会
電話 四四二〇〇呼
編輯 若山千鶴子
発行 昭和35年3月20日
(第三八号)

社団法人 大学婦人協会

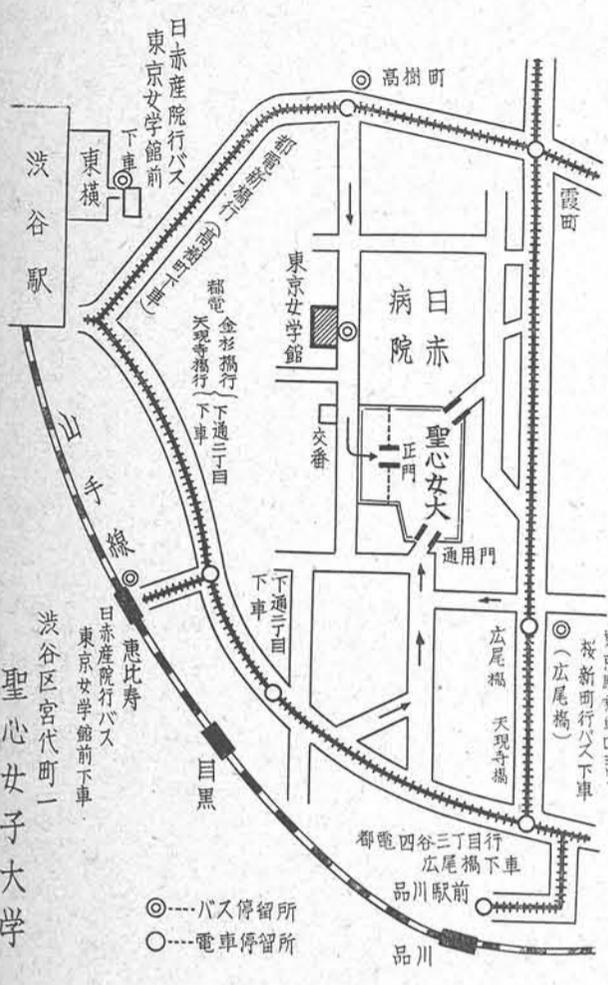
第三回通常総会御案内

第三回通常総会を左の如く開催致します。会員皆様の御参会を得て、本年度の諸計画をすゝめたく、今年は聖心女子大学の御好意により、左の如くとり決めました。何卒万障御繰り合わせ下さいまして御出席頂きたく御案内申し上げます。

日時 昭和三十五年四月三日(日曜) 午前十時三十分より
場所 渋谷区宮代町 聖心女子大学(左図参照)
会費 五百円(総会費百円、昼食費貳百円、茶話会費百円、写真代百円)

- 一、開会 十時半
- 二、諸報告
 - イ、事務報告
 - ロ、会計報告
 - ハ、各委員会報告
 - ニ、募金委員会、留学生委員会報告
 - 三、写真撮影
 - 四、昼食、休憩
 - 五、協議
 - イ、定款に関する事項
 - ロ、第二条、事務所所在地変更
 - ハ、定款研究委員会設置について
 - ニ、予算審議決定
 - ホ、募金利子について
 - ヘ、募金に關する事項
 - コ、募金利子について
- 六、支部提案事項
- 七、次回総会に関する事項
- 八、信任投票
 - 理事並に監事候補者
 - 副会長 石森千代(再 日女大)
 - 書記 伊東滋子(新聖心女大)
 - 會計 大槻高子(再 日女大)
 - 監事 小川文代(再 東女大)
 - 役員選考委員候補者(順不同)
 - 粕谷 喜美子(津田塾大)
 - 阿武 不二(日女大)
 - 野見山 文子(東女大)
 - 天達 マリ(聖心女大)
 - 野越 宮(奈良女大)
- 九、閉会 四時
- 十、親睦茶話会 新旧役員紹介

右の通り
昭和三十五年三月十五日
会長 吉田 武子



地方会員のための宿泊用意

日本女子大学桜楓館にて
本部では、上記第三回通常総会開催にあたって、地方から上京される会員の皆様方のために宿泊の準備もいたして居ります。
東京に御親戚や知人などをお持ちでなく、宿泊に不自由なさうしていらっしゃる方々も、億劫がらずに是非とも御出席下さいませよう、お待ち致しております。年に一度の総会に、一人でも多くの会員の皆様方がお集まり下さいまして意義多い会に致したいと存じます。
宿泊所は左の通り準備致しました。何卒御利用下さいませ。

御利用の方は
東京都文京区高田豊川町一八番地 日本女子大学桜楓館へ直接御申込みのこと。
宿泊料及食事代左の通り
和室 二人部屋一人五百円
洋室 但し一人希望の場合は壹千円
食事代 朝食 百五十円
夕食 百五十円
交通 (下図参照)
目白駅より 新宿駅西口行バス
スクールバス
いずれも女子大前下車 右側交番わきの門を入り左へ

評議員会御案内

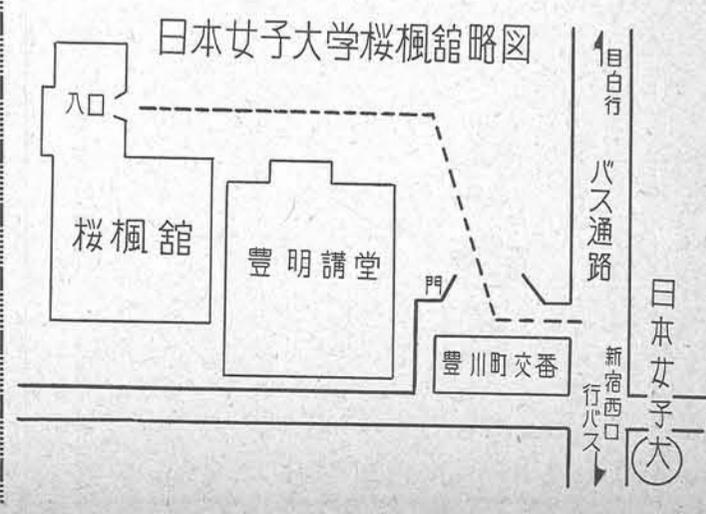
評議員(地方支部長)の御上京を御迎え、評議員会と歓迎夕食会を左の通り催します。何卒、春宵の一刻を、地方会員の方々と共に御楽しみ下さいませ。会員の会費は半額になって居ります。
日時 昭和三十五年四月二日(夕) 五時—九時
場所 港区麻布鳥居坂 国際文化会館
会費 評議員不要
会員 二百円

- 次第
- 一、あいさつ 会長、各支部長
- 二、御食事
- 三、協議及懇談
- 四、閉会

国際文化会館は
渋谷駅より
都電新橋行⑥六本木下車
又は六本木のり替え③三河台下車 右へ
新宿駅西口より 田町行バス 鳥居坂下 下車左へ
右御案内申し上げます
昭和三十五年三月十五日
会長 吉田 武子

評議員各位様 会員各位様

大学婦人協会 東京支部
總會御案内
とき 3月26日(土) 午後2時—4時半
ところ 日本女子大学桜楓館講堂
文京区高田豊川町18
国電目白駅からバス女子大前下車
議事 34年度会計事業報告
35年度予算計画審議
講演 道喜美代氏
日本女子大学教授
"アメリカにおける日本人留学生"
(スライド使用)
会費 不要 茶菓の用意があります
万障御繰り合せ御出席下さいませよう
御願ひ申し上げます。
東京支部長 辻 きよ



急告

昨年の総会の折お貸し致しました講演テープ、四月三日の総会の時に必ずお忘れなく本部にお返し下さるようお願い致します。
大島 清子

AAUW奨学生決定

国外奨学委員長 高橋 憲子
AAUWワシントン本部から、一九六〇—六一年度の留学生は、中島はる氏、高橋道氏の二名に決定したという通知がありました。なお今年度は米留學志望者が非常に多く、応募した国は三十三カ国に及び、しかも皆優秀な方ばかりであったが、その中から三十名に奨学金が授与されたという報告でありました。このようなきびしい競争の中から、日本から二名の方が選ばれました事は、まことによろこばしい事でありませう。

中島 はる氏
学歴—日本女子大学卒。
長崎大学医学部、生化学教室にて研究。
医学博士。現在純心女子短大教授。
高橋 道氏
学歴—東京女子大学卒。
東京大学文学部英文科卒。
現在東京女子大学専任講師。
留學目的—アメリカ文学の研究。

委員会事業報告

より深い国際理解と親善のために

留学生委員会

- 昭和卅四年度文化紹介プログラム
- 四月 今年度新留学生歓迎会、夕食と琴、桜楓会館
 - 五月 日本民芸館見学と陶器についての講演、日本民芸館
 - 六月 神奈川県見学へ招待、学生約三十八名参加、東京駒場、江の島マリンランド、鎌倉大仏、八幡宮、近代美術館、昼食、油壺、遊覧船乗船、三崎、横浜シルクセンター、東京駒場、全路バスにて案内、右は神奈川県庁内、東南アジア善隣樹立国民運動本部が大学婦人協会主催として寄附下さったもの
 - 七月 学生音楽会(成城大学コーラス、日本の歌を主としたもの)
 - 八月 留学生会館 夏中休暇にてなし
 - 九月 映画の会、「富士」「新しい鉄の時代」
 - 十月 日本舞踊予定のところが留学生会館の都合で中止
 - 十一月 日本語の演説会(学生五名参加)つづいて座談会(学生約三十名参加、留学生会館)
 - 十二月 ダンスパーティーへ招待、如水会館、日本舞踊、花柳久美佳氏「六段」の舞踊、さらん節をともし踊る。
 - 一月 盆石の実演と展示、松永絃外氏、留学生会館
 - 二月 和食膳の説明と夕食会、留学生会館、和田智恵子氏、学生参加五十八名、外助手



(留学生会館における和食膳の説明と夕食会)

三名、会員其他二十三名

三月(予定)卒業祝と帰国送別会、留学生会館

日本語会話のクラス

文化プログラムのほか、休暇の月を除いて毎月第一金曜日に、日本語会話のクラスを開いておりました。五名から十名の学生の参加があります。初歩の人には英語で説明し、進んだ人には日本語の訳りを直し、時間を経てからは、日本語で英語で意見の交換をします。講師は左の方々が立派な資格のある方々が時間を割いて下さいますことを感謝申し上げます。

横山以登子、猿山ふみ子、ローレンス常子、奥山真の諸姉

留学生会館の仕事は、同

館が駒場に建てられた時から始めて、此度三周年を迎えまして、行儀の正しい勉強に励む、立派な学生という習慣をのぞまれる会館側と、宿舎に帰ってからはのんびりしたいと云う学生達の間に立つて、私共は、いつも両方に満足できるように企画を願って、心をくだいて来ました。幸い此頃は会館側もよく認めて下さるようになって来て、私共の真意をおかされて心から親しくなっています。私も学生の個人やその国柄によつての考え方も少しずつわかって来ました。昨年からは学生の委員会から大略左のような手紙を貰いました。

「われわれ留学生会館の学生は大学婦人協会が、貴国滞在中の私達の生活を楽しく、健全にするために、非常な関心をよせられ、言葉につくせない真情をもって私達の勉学生活と、社会生活のために下さる御世話に感謝いたします。有意義な年のおわりに当って心から感謝いたします。以下

務所あて、時日と人数とを御申込み下されば、国籍を御申込み下さいます。先頃、留学生の滞在する地方五支部にもお願いしましたが、どうぞ御協力を願ひ申上げます。

(山崎文子記)

IFUW便り

国際委員長 大島清子

一九五九年ヘルシンキ総会に於ける決議事項の主な金庫に協力する事

六、IFUWはユネスコ、NGO国内委員会その他国連会議と密接な関係を保ち役立たせる事

七、細則変更、A、準会員の基準につき(詳細省略)

B、各協会が規約にそなわなかった場合は三年以上上会費滞納の場合は会員資格を失う事(以下省略)

八、IFUWは核兵器実験に依つて世界の人類が危険に曝される事を認め各国政府に人類の幸福を護る様な協定を結ぶ様に努力する事を力説する。以上

なお次の総会は一九六二年メキシコにて開かれる予定

雪印

インスタント スキムミルク

楽しいお買物の散歩道!

伊勢丹

3591111大代表

女子教育の推進を目指して

学校教育委員長 原喜美

学校教育委員会として、崎文字氏等知名の士をもつて委員会が組織されております。実際に報告書の作成については、お茶の水女子大学吉田昇教授が編集の責任をとり、その外東京大学新聞研究所氏原正治郎教授、同研究所員関谷温子氏、大と国際基督教大学原喜美が学協を代表して加し仕事を推進しております。

又民主教育協会の事務関係の方が、二〇七一通のアンケートの内容分析、集計等直接整理の仕事に当り既に百を超える関係者の計算もほぼ終了いたしました。この調査の結果から何か女子の大学教育の将来に対する展望が開ければと願っております。

(二)次に学校教育委員会の本年度および来年度の計画として、婦人の地位委員と協力して女子大学に大学院を設置する推進力とな

るような調査を計画しております。これは女子の大学生の生活意識および態度に関する調査でありまして、波多野勤子氏が既に予備調査を済ませられたものを、同氏の御好意によって、大学婦人協会に委嘱されたものであります。この調査の目的は、前述のように女子大学に大学院を設置する為の資料を提供したいという希望をもつて、現在の別学、大学の女子の大学生が、大学の選定、大学共同生活、学問、卒業後の進路、結婚等について、いかなる意識と態度を示しているかその実態を把握しようとするものであります。

全国的な分布を得るため、大学が集中している関東地区と関西地区において、四年制の別学と共学の大学を各十校づつ選定して、その最高学年を対象として調査を行う予定にしております。一九五九年度文部省の調査によりまして、四年制の大学卒業の女子学生は、一五、五七名に達して、その15%の抽出

の団体は協力して、婦人団体国会活動連絡委員

会と、売春対策国民協議会

がある。

婦人団体国会活動連絡委員会

は、大学婦人協会、日本婦人有権者同盟、婦人平和協会、日本キリスト教婦人矯風会、東京YWCA、日本看護協会、全国地域婦人団体連絡協議会の七団体が参加している。

会として今迄に活動した主なものは(1)婦人関係問題に予算を増加する様努力して居るのであります。売春の問題は根ざすところ深く又歴史も古いのでありまして、一朝一夕に解決することの困難なことは、諸外国の例に見ても明らかであります。この為にも明らかに運動が必要なのであります。運動の基礎ともなるものは、広い人間愛と、社会的良心であると思われまます。今協議会では、度々集まり研究会を開き、実状の調査獲得などに努力し、又専門家を頼み、勉強の会をするなど致して居ります。

又オリンピック開催を機会として、東京の環境を浄化し、世界の各地から迎える若い人達のために、清潔で明るい都市として、仮にも風紀問題などを起こさぬよう都知事に要望して居ります。

売春対策委員会の事業

若林花子

菅原通済氏を会長とする売春対策協議会に対し、約三十の婦人団体、宗教団体から成る売春対策国民協議会があり、会長は久布白オチミ先生であります。本会もその趣旨に賛成して一員となり、売春防止法の徹底を期し、種々の仕事に参加して居るのであります。売春の問題は根ざすところ深く又歴史も古いのでありまして、一朝一夕に解決することの困難なことは、諸外国の例に見ても明らかであります。この為にも明らかに運動が必要なのであります。運動の基礎ともなるものは、広い人間愛と、社会的良心であると思われまます。今協議会では、度々集まり研究会を開き、実状の調査獲得などに努力し、又専門家を頼み、勉強の会をするなど致して居ります。

万人に向く栄養強化食

日食オーツ

日本食品製造合資会社

味の素

化学調味料

味の素株式会社

